

社員代表の弔辞

【 弔辞の構成 】

< 出だし >

1. はじめの言葉
2. 個人の死に対する驚きと悲しみを表す

< 結び >

7. 遺族への励ましと慰め
8. 冥福を祈る結びの言葉

< 主題 >

3. 故人の人柄を表す
4. 故人の功績や業績を讃える
5. 故人とのかかわりやエピソード
6. 残された者の責任と故人への誓い

【 社長への弔辞 (社員代表) 】

< ポイント >

折り目正しさの中にも、敬愛と親しみを込め、恩師に対する追慕の念を素直に表します。
事例は具体的なほど人柄が鮮明に表現されます。

(文例)

謹んで 株式会社代表取締役社長 様の御霊前に、社員を代表して、一言お別れの御挨拶を申し上げます。

会うは別れの始めと申しますが、いまこの悲痛な現実に遭遇し、私どもは為すことを知らぬ有様です。現世の定めとはいえ、ただ無情を怨むばかりでございます。

社長は、常に社員の先頭に立ち、敢然と立ち向かい、縦横無尽の活躍をなされました。その一方、周囲に寛容であり、慈父の如く慕われたことは、広く人の知るところであります。

御功績は枚挙にいとまありませんが、特筆すべきは、時代に先がけコンピュータのソフトウェアメーカーを創業、すぐれた先明性のもとに、各種システムの開発にいち早く着手し、業界をリードしつづけた点でありましょう。

そして我が社の基礎を不動のものにいたしました。

このうえは、我々社員は一致協力し、社長の御遺徳、御遺業をさらに前進させてまいる決意であります。それを御霊前に固くお誓い申し上げます。

御遺族の皆様方には、さぞ御心痛のこととお察しいたします。

しかし、社長は常に見守っていて下さいませ。

どうか、お気落ちなさいませぬようお願いいたします。

社長、いよいよお別れの時が、やってまいりました。後は私共にお任せ下さり、何卒心やすらかに眠り下さい。

最後に社長の御冥福をお祈り申し上げ弔辞といたします。

平成十五年五月二十日

株式会社